

農作物病害虫発生現況情報（6月） ねぎ編

1 さび病

(1) 6月下旬の巡回調査では、発生圃場率は30.0%（平年11.0%）であり、平年より高かった（図1）。

2 べと病

(1) 6月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（平年5.0%、図2）。

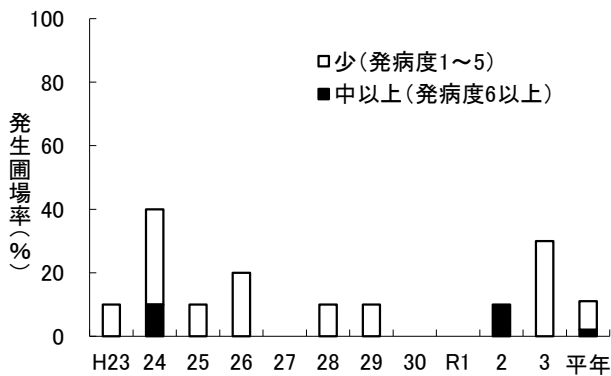


図1 さび病の発生圃場率の年次推移（6月下旬）

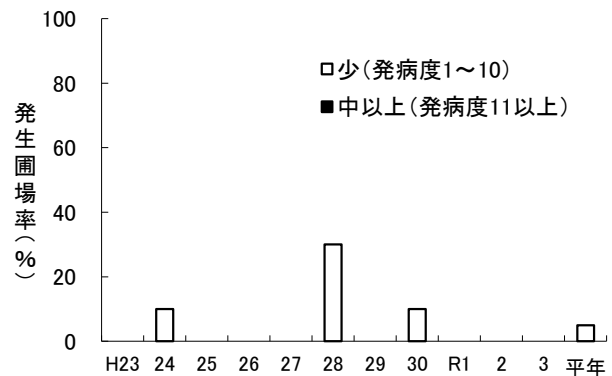


図2 べと病の発生圃場率の年次推移（6月下旬）

3 黒斑病・葉枯病

(1) 6月下旬の巡回調査では、発生圃場率は10.0%（平年1.0%）であり、平年より高かった（図3）。

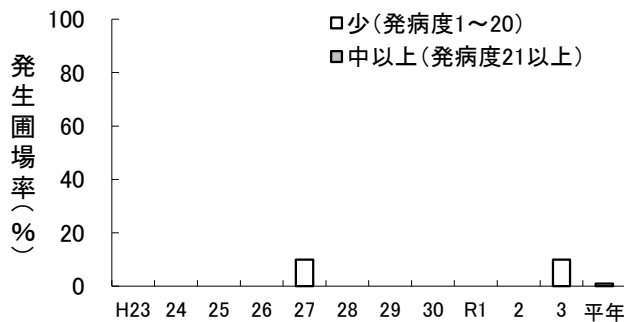


図3 黒斑病・葉枯病の発生圃場率の年次推移（6月下旬）

4 ネギコガ

(1) 6月下旬の巡回調査では、発生圃場率は60.0%（平年38.4%）であり、平年より高かった（図4）。

(2) 時期別の被害葉率は、6月上旬は平年より低かったが、6月下旬は平年並であった（図5）。

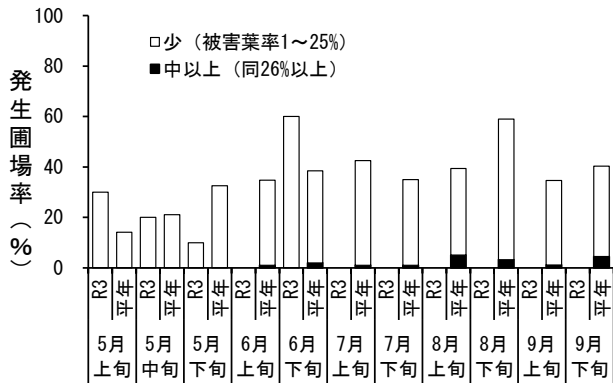


図4 ネギコガの発生圃場率の時期別推移

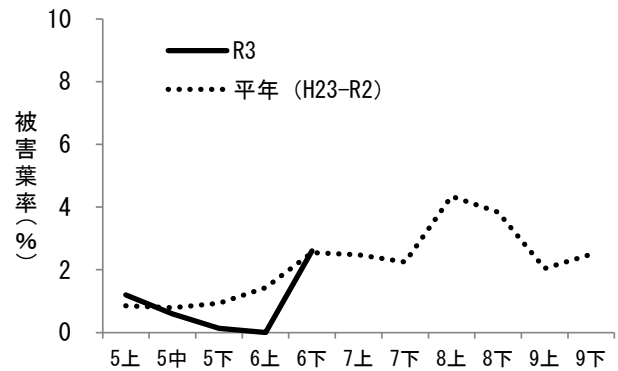


図5 ネギコガによる被害葉率の時期別推移

5 ネギハモグリバエ

(1) 6月下旬の巡回調査では、発生圃場率は70.0%（平年44.6%）、被害度中以上の圃場率は20.0%（平年11.0%）であり、ともに平年より高かった（図6）。

(2) 時期別の被害度は、6月上旬は平年より低かったが、6月下旬に急激に上昇し、平年より高くなった（図7）。

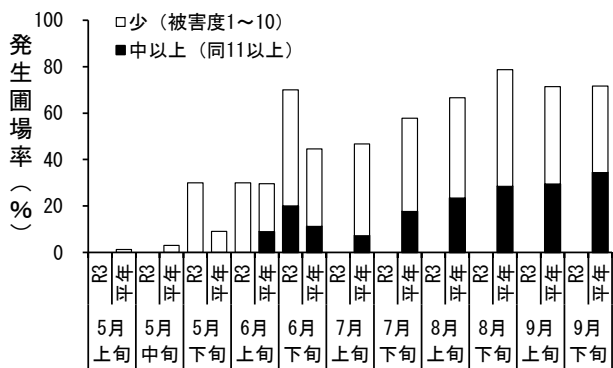


図6 ネギハモグリバエの発生圃場率の時期別推移

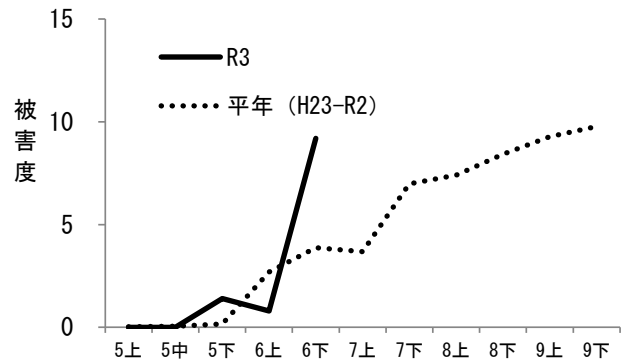


図7 ネギハモグリバエによる被害度の時期別推移

6 ネギアザミウマ

(1) 6月下旬の巡回調査では、発生圃場率は100.0%（平年87.0%）、被害度中以上の圃場率は70.0%（平年42.7%）であり、ともに平年より高かった（図8）。

(2) 時期別の被害度は、6月上旬、下旬ともに平年より高くなった（図9）。

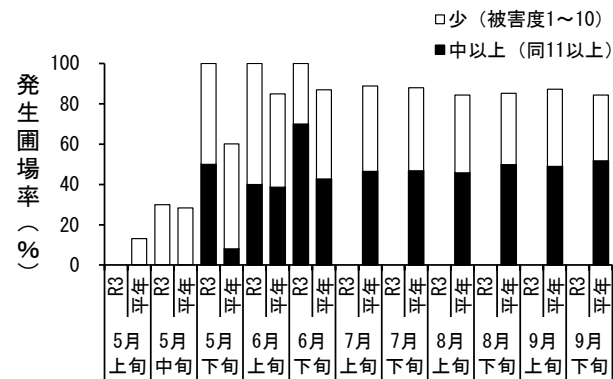


図8 ネギアザミウマの発生圃場率の時期別推移

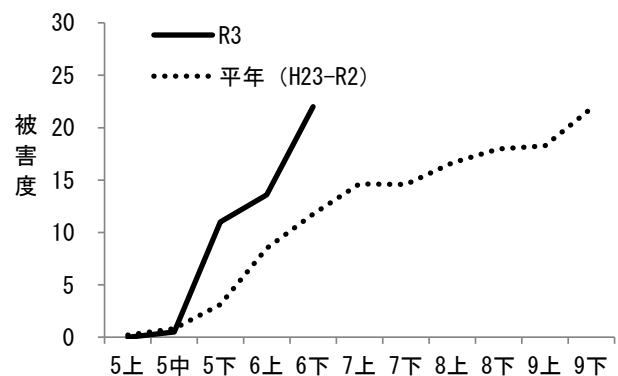


図9 ネギアザミウマによる被害度の時期別推移